

アメリカオリンピック・パラリンピック委員会との調整状況について

1 主旨

東京 2020 大会時のアメリカキャンプ実施について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた交流事業やキャンプの運営について、現在進めているアメリカオリンピック・パラリンピック委員会（以下「USOPC」という）との調整状況について報告する。

2 キャンプ実施概要

(1) 実施日程

オリンピックチーム : 7 月 4 日～8 月 16 日（公園一部及び全ての運動施設）

パラリンピックチーム : 8 月 17 日～8 月 28 日（陸上競技場のみ）

(2) セキュリティプラン

大蔵運動公園内は、USOPC が専有するエリアと一般エリアを明確に分け、エリアの境界にアクセスポイントを設置し、通行証等の提示等で出入が管理される。

7 月 4 日～8 月 16 日まで大蔵運動公園の一部と運動施設を封鎖する。フェンスが設置されるまではコーンとバーで対応する。

キャンプ会場内は USOPC、外周は警察が警備を行う。

(3) 休止にともなう区民周知

キャンプ期間の周知用ポスター、チラシを作成し、令和 2 年 7 月 15 日より告知を開始した。区のおしらせ、区ホームページ掲載、区内各施設、区内掲示板へのチラシ、ポスター掲出、各種イベントでの周知を行ってきた。（参考資料 1）

3 交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、選手が来日できない状況下にあったため、当初予定していた対面式の交流から見直しを図り、文通や動画配信等を軸とした交流を行ってきた。これまで取り組んできた交流を踏まえ、大会期間中、大会後の交流について、実施に向けて USOPC と協議を行っている。

(1) 事業調整内容

別紙「USOPC と世田谷区の交流事業見直し」のとおり

(2) 事業実績

参考資料 2「USOPC と世田谷区の交流事業実績」のとおり

4 キャンプボランティア

令和 2 年 3 月にキャンプの運営を補助するボランティア 52 名を採用したが、USOPC より選手との接触を最低限にしたい主旨からキャンプボランティアの人数を見直すよう要請があった。USOPC から示された以下の活動条件で意向調査を行い、12 名がキャンプボランティアとして従事することに決定した。

(1) 活動期間

7月10日～8月13日

(2) 活動日数

20日以上

(3) 活動内容

- ・会場運営アシスタント
- ・警備アシスタント

5 感染症対策（調整中）

東京2020大会のプレイブック等に記載された基本的事項を基にUSOPCと協議し、感染防止対策をまとめた「受け入れマニュアル」を作成し、感染防止対策を行う。

(1) 感染症対策

関係者以外の立ち入りを不可とし、消毒の徹底、飛沫対策、換気・三密回避の対策を講じる。

(2) 選手等の健康管理、行動管理

選手滞在時の健康状態、他者との接触状況及び位置情報の把握

- ・健康観察アプリを介しての報告を1日2回行う。
- ・接触確認アプリを利用し、地図アプリで位置情報を保存する。
- 選手等の滞在先・用務先、移動手段についての制限・行動ルール
- ・選手の行動は用務先（競技会場、練習会場）と宿泊施設の往復のみに限定される。
- ・移動は公共交通機関を利用せず、専用車両により移動する。
- ・食事会場は用務先に限定され、ホテルでは個室を原則とする。

検査

- ・検査会場を用務先に設ける。
- ・選手は毎日スクリーニング検査を実施する。
- ・選手と一定の接触がある者は毎日、その他の関係者は定期的に検査を実施する。

(3) 感染疑い者等発生時の対応

東京都や保健所と連携し、感染疑い者・陽性者発生時の対応フローを定める。

6 今後のスケジュール（予定）

令和3年	6月	感染症対策等に関する準備
	7月 4日	アメリカキャンプ準備開始
	8月17日	陸上競技場のみパラリンピックチーム利用開始
	8月28日	パラリンピックチーム利用終了

USOPCと世田谷区の交流事業見直し

No	事業	実施時期	内容（変更前）	検討内容（変更後）	調整状況
1	キャンプ見学ツアー	キャンプ終了後	キャンプ期間中に、区民を対象としたキャンプ見学ツアーを実施。1日2回各回最大20名が参加、のべ参加人数は1,000名程度を予定。	感染症対策のためツアーは中止。代わりにキャンプの様子を、区民にバーチャルで体験できるように、キャンプ中に動画撮影し、区ホームページ等で配信する。セキュリティへの配慮のため、キャンプ終了後に配信する。	実施決定
2	ウェルカムイベント	選手利用開始直前期	キャンプ開村にあわせて子ども達によるアメリカ選手団を歓迎するセレモニーを検討。セレモニー後に交流会を行う。	USOPCより選手との接触を最低限にしたいとの申し出があり中止とした。	中止
3	アメリカ選手団へ贈る動画・横断幕の作成	5月～	No 2 の代替	区内小中学校がアメリカ選手団を応援する装飾やビデオメッセージを作成し、キャンプ会場内に展示する。	実施決定
4	区民へ向けたビデオメッセージ	6月	No 2 の代替	アメリカ選手から区民に向けたメッセージ動画をHPにアップし区のお知らせに掲載し紹介する。	実施決定
5	小児医療施設訪問	選手来日時	来日した選手が小児医療施設を慰問。	感染症対策の観点から病院への訪問は中止。国立成育医療センター敷地内に8月に開設される医療的ケア相談支援センター（愛称：Hi・Na・Ta）のオープニングイベントへアスリートにビデオメッセージ又はイベントへの参加を依頼した。	調整中
6	メダリスト交流	大会期間中	メダルを獲得した選手が帰国するまでの間に区内で開催しているイベントに参加し区民と交流する。	選手は選手村を出るまで感染症対策で行動制限がかかっているため、選手村退去後から帰国するまでの間に予め交流のスケジュールを組める選手の参加を依頼した。	調整中
7	米国選手とのレター交流	4月～	アメリカ選手と中学生による文通を実施	大会後も継続して実施を検討	実施決定
8	動画を活用したクリニック(1)	9月～	【新規】	対面式の交流が困難なため、選手がトレーニングを紹介する動画を提供してもらい、その動画を活用して日本人アスリートが区内学校で出前授業を行う。	実施決定
9	動画を活用したクリニック(2)	9月～	【新規】	キャンプ会場で実際に米国選手が練習している様子とコーチや選手が練習内容の解説をしている動画を撮影する。編集した動画を活用して動画配信やクリニックを開催する。	実施決定
10	選手団寄せ書き、サイン入りグッズの寄贈・展示	9月～	【新規】	キャンプ会場内に、選手が自由にメッセージを記入することができる横断幕やボール等の物品を用意し、記入してもらった物品をレガシーとして大蔵運動場に展示する。	実施決定
11	区内事業への定期的な米国選手参加		【新規】	東京2020大会後のレガシーとして、アメリカ選手を招致し、子供たちに各スポーツのクリニックを実施し、スポーツの普及啓発に資する。	調整中

大蔵運動場・大蔵第二運動場・大蔵運動公園(一部)利用休止のお知らせ

2020年から2021年に 変更になりました。

利用休止期間：2021.7.4～8.16

※利用休止期間及び対象の施設は変更となる可能性があります

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、アメリカ選手団が大蔵運動公園内施設でトレーニングキャンプを実施するため、上記期間は公園及び運動施設をご利用いただけません。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

利用休止施設：**公園**(駐車場含む)及び**全施設**(夏季屋外プールを除く)

大蔵運動場

体育館、第1武道場、第2武道場、体育室、トレーニングルーム、会議室兼軽運動室、弓道場、洋弓場、エアライフル場、テニスコート、野球場、陸上競技場、温水プール、レストラン、売店

大蔵第二運動場

体育館、トレーニングルーム、宿泊室、集会室、テニスコート、ゴルフ練習場、レストラン、売店

大蔵運動公園 (駐車場含む)

立入不可のエリアは下記地図をご覧ください。

※上記期間以外に、**8.17～8.28は陸上競技場**がご利用いただけません。公園及びその他の施設については、ご利用いただけます。

大蔵運動公園 立入不可エリア

大蔵運動場

世田谷区大蔵 4-6-1

砧公園管理事務所

(公財)世田谷区スポーツ振興財団



大蔵第二運動場

世田谷区大蔵 4-7-1

USOPCと世田谷区の交流事業実績

	概要	日時	場所	人数	講師／選手	主な内容
1	パラリンピアンによる講演会	2018年9月14日	①明正小学校 ②砧中学校	1,047人	ジョン・レジスター氏 (元パラリンピック陸上選手シドニー大会銀メダリスト)	(1) 明正小学校 ①全校集会での紹介、講演(1～6年生) ②ソーラン節の披露 ③休み時間の交流、 ④講演(5・6年生) (2) 砧中学校 ①特別支援学級の生徒との給食交流 ②校内見学 ③休み時間の交流 ④講演(1年生)
2	スポーツクリニック	2018年11月17日	①桜丘中学校 ②東深沢中学校 ③用賀中学校	90人	アメリカオリンピック委員会及び各競技団体コーチ	(1) 桜丘中学校 ①バレーボール (2) 東深沢中学校 ①サッカー (3) 用賀中学校 ①陸上競技 ②ソフトボール
3	小児医療施設訪問	2019年3月25日	①成育医療研究センター ②もみじの家	—	ネイサン・チェン (2019世界フィギュアスケート選手権 優勝) ジェイソン・ブラウン (2019世界フィギュアスケート選手権 9位)	①国立成育医療研究センター等の慰問 ②記念撮影
4	フィギュアスケーターとの交流会	2019年3月25日	①教育センター「多文化体験コーナー」	42人	ジェイソン・ブラウン (2019世界フィギュアスケート選手権 9位)	①トークショー ②準備運動やストレッチの指導 ③ダンスやクイズ等の英語を通じた交流
5	米国選手とのレター交流	2019年7月～	—	12人	オリンピック・パラリンピアン 12名 区内在住・在勤中学生 12名 (川場村中学生 12名)	オリンピックトレーニングセンターにいる12名の選手と中学生との文通を2往復行なった。
6	心のバリアフリーシンポジウム	2019年10月21日	①下高井戸商店街 ②日本大学文理学部	137人	車椅子ラグビー選手 4名	障害者を含めた区民とアメリカのパラリンピアンとの商店街の街歩き、障害者への合理的配慮に関する意見交換会実施。
7	大蔵運動場陸上競技場オープニングイベント	2019年11月23日	①大蔵運動場陸上競技場	100人	マイケル・ノーマン選手 (400m室内世界記録保持者) タチアナ・マクファーデン選手 (車椅子アスリート、4大マラソングランドスラム達成) 計2名	大蔵運動場陸上競技場のオープンイベントでアメリカの陸上競技選手によるトークショーを行った。
8	世田谷246オンラインハーフマラソンオープニング用ビデオレター	2020年11月8日	—	—	ブリットニー・リース(走り幅跳びロンドン五輪金メダリスト) クリス・ベナード(2017世界選手権三段跳び6位) レックス・ジレット(パラリンピック走り幅跳び銀メダル4回)	オンラインハーフマラソン参加者に向けたビデオメッセージをもらい、オープニング動画に流した。
9	世田谷246オンラインハーフマラソンへの参加	2020年11月8日～15日	—	—	USOPCスタッフ6人	オンラインハーフマラソンにゲストとして参加。
10	メッセージでつなぐ「新年のつどい」ビデオレター	2021年1月上旬	—	—	USOPCスタッフ12人	新年のつどい用にUSOPC12名からお祝いのメッセージをもらい、編集した動画を区のYouTubeチャンネルと区政PRコーナーで流した。